第2期
豊岡市地方創生総合戦略
第２版

2020 年度～2024 年度

2020 年 12 月

兵庫県　豊岡市

も　く　じ

Ⅰ　人口予測と分析　・・・・・　1
　１　人口予測（基準推計人口）　・・・・・　1
　２　人口減少の要因　・・・・・　2
　３　人口減少による地域への影響　・・・・・　3

Ⅱ　豊岡市地方創生総合戦略　・・・・・　4
　１　人口減少トレンドの緩和　・・・・・　4
　　⑴　人口減少抑制対策の柱　・・・・・　4
　　⑵　2040 年の目標人口（人口ビジョンから）　・・・・・　5
　２　住民基本台帳データによる人口移動分析　・・・・・　6
　　⑴　自然減少・社会減少と傾向　・・・・・　6
　　⑵　転入元・転出先　・・・・・　7
　３　進行する人口減少下における地域活力の維持　・・・・・　8
　４　人口減少の緩和と緩和策を通じた地域活力の維持　・・・・・　8
　　（ローカル＆グローバルの推進）
　５　第２期豊岡市地方創生総合戦略の新たな視点　・・・・・　9
　　⑴　多様性を受け入れるまちづくり　・・・・・　9
　　ア　女性に選ばれるまち（ジェンダーギャップの解消）　・・・・・　9
　　イ　外国人住民との共生推進　・・・・・　9
　　⑵　深さをもった演劇のまちづくり　・・・・・　10
　　⑶　芸術文化観光専門職大学との連携　・・・・・　10
　６　第２期豊岡市地方創生総合戦略体系図　・・・・・　10
　７　戦略の期間　・・・・・　12
　８　戦略の進め方　・・・・・　12
　９　第２期豊岡市地方創生総合戦略に基づく事業・指標　・・・・・　13

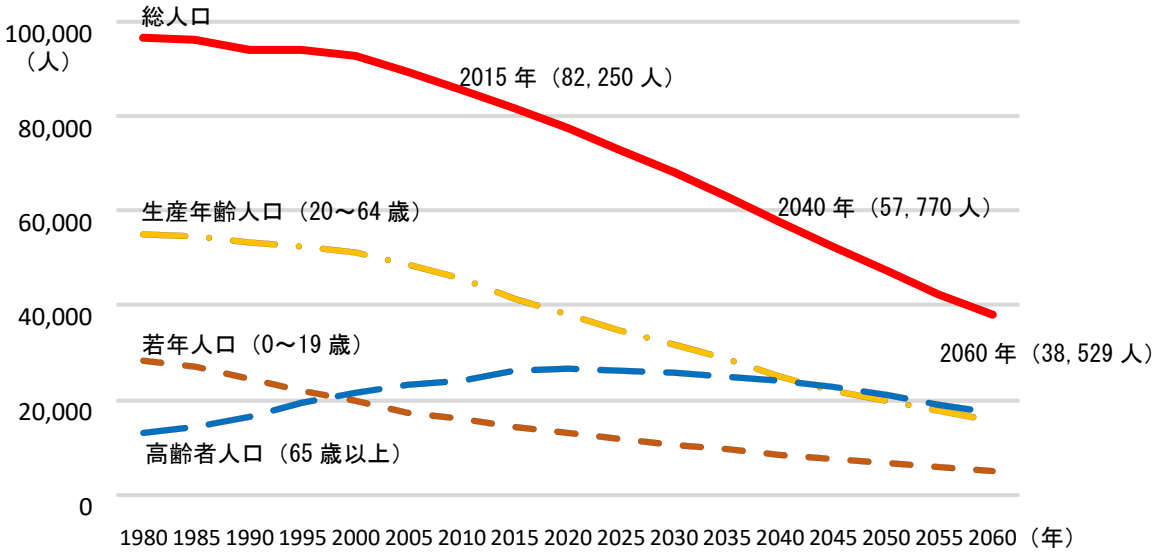
Ⅰ　人口予測と分析

１　人口予測（基準推計人口）

豊岡市の人口は、今後減少のペースを加速し、2015年に82,250人であったものが2040年には57,770人（2060年には38,529人）になると推計されている（この推計人口を戦略の「基準推計人口」とする）。

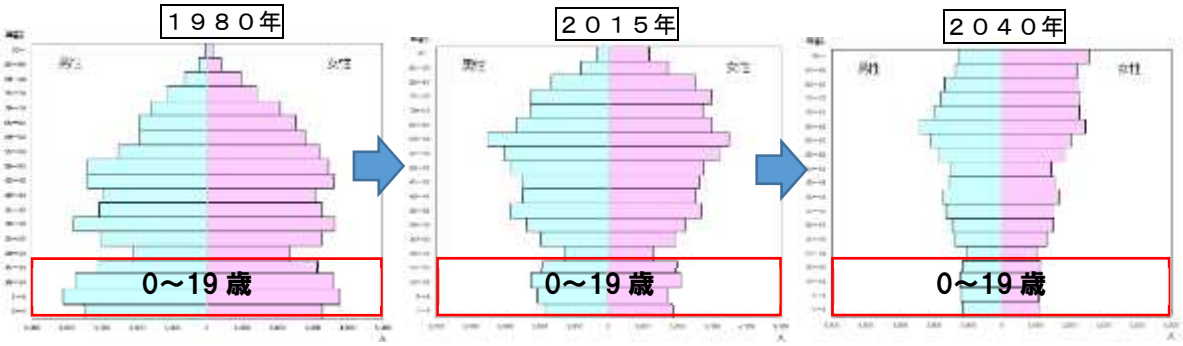
その減少率はとりわけ０歳から19歳の若年人口で大きく、人口減少は今後さらなる少子・高齢化を伴いながら進み、2040 年には、１ 人の高齢者を生産年齢人口 1.0 人（2060 年には 0.9 人）で支える人口年齢構造になると予測されている（図１、図２）。

【図１】　総人口と年齢３区分別人口の推移（1980～2060 年）



（出典：1980～2015 年は総務省統計局「国勢調査」，2020 年以降は内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局提供人口推計ワークシート（CD-ROM）により作成した独自推計）

【図２】　豊岡市の人口ピラミッドの推移（1980、2015、2040 年）



（出典：国勢調査・2040 年は市推計）

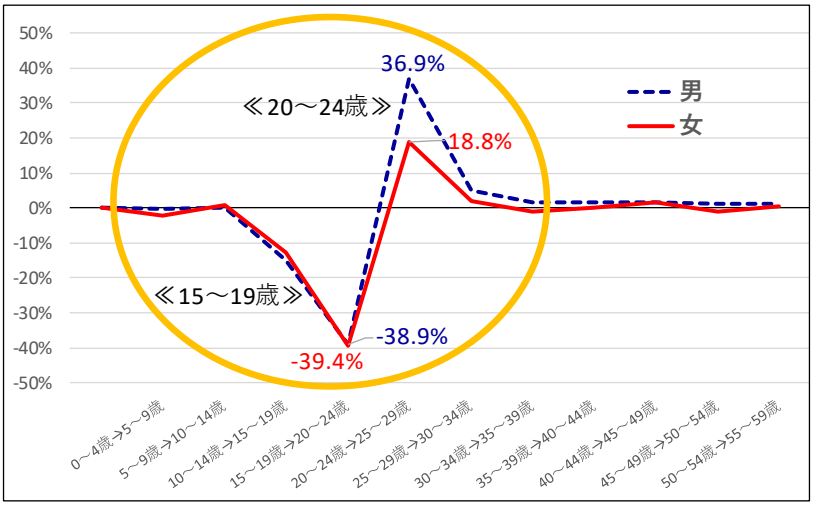
２　人口減少の要因

豊岡市の人口移動は、①ほとんどの年齢層で転入・転出の数がほぼ均衡しているのに対し、②高校卒業後の就職・進学期（15～19 歳）に大きく転出超過が見られ、③逆に専門学校・大学卒業後の就職期（20～24 歳）に大きな転入超過となっているが、④15～24 歳のトータルとしては、大幅な転出超過となっている（図３）。

加えて、未婚率が上昇している（図４）ことから、出産適齢期の夫婦の数が減少して出生数が低下するとともに、その減少した子どもたちが成長して大学等に進む段階でまた転出超過になる、という悪循環にある。

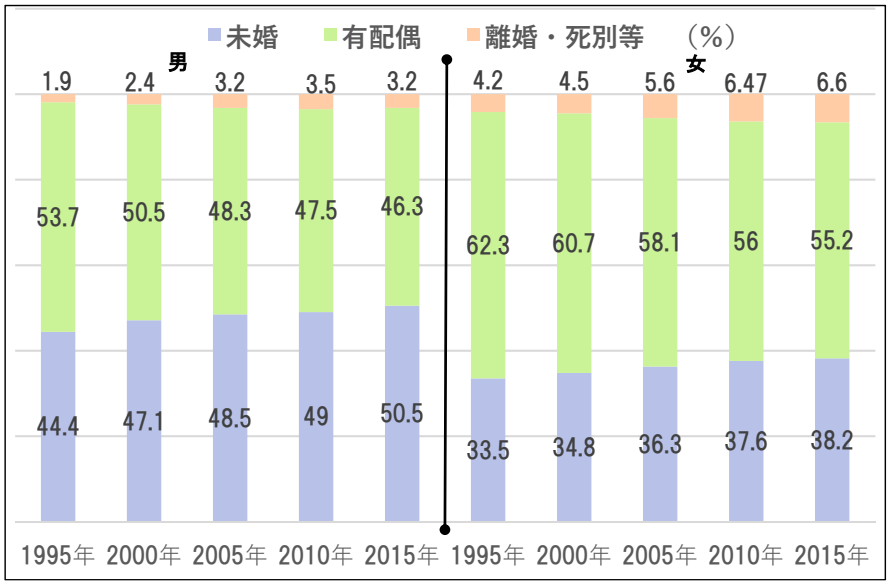
他方で、近年、有配偶者女性 1 人当たりからの出生数は減少していないと推定できる（図５）ことから、今後急速に進む豊岡市の人口減少の主な要因は、上述の若者の転出超過と未婚率の上昇にあると考えられる。

【図３】　年齢性別・純移動率（2010～2015 年）



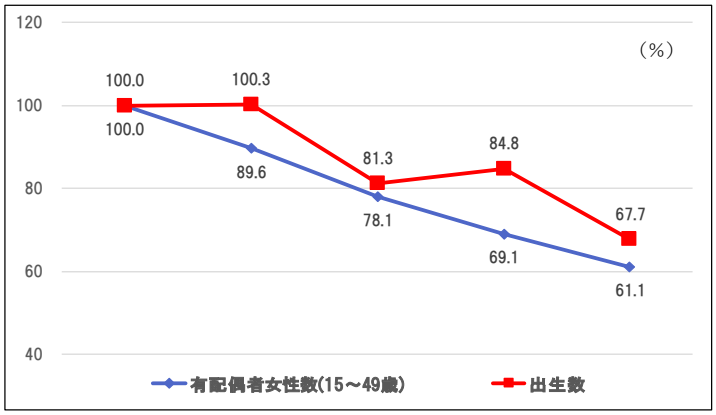
（出典：中嶋圭介氏（神戸市外国語大学准教授）の資料をもとに作成）

【図４】　男女別　未婚率・有配偶者率等の推移（15～49 歳／1995～2015 年）



（出典：国勢調査）

【図５】　有配偶者女性数（15～49 歳）と出生数の推移



※1995 年を起点（100%）としたときの率で表示

有配偶者女性数の減少率ほどには出生数は減少していない。

	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年
有配偶者女性数（人）（15～49歳）	12,483	11,191	9,753	8,623	7,624
出生数（人）	900	903	732	763	609

（出典：国勢調査、兵庫県統計課「兵庫県の人口の動き」）

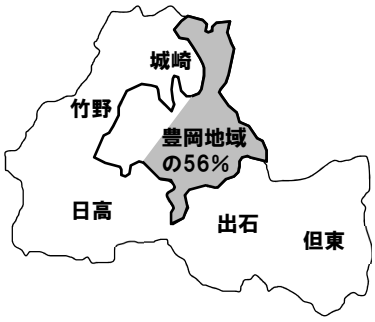
３　人口減少による地域への影響

2040 年までの 25,000 人近い人口減少は、現在の「豊岡地域の 56%」、「城崎・竹野・日高地域のすべて」又は「城崎・竹野・出石・但東地域と日高地域の 13%」の人口が消滅する事態に匹敵する（図６）。

しかも、この人口減少はさらなる少子・高齢化を伴いながら進行することから、推計のとおりに人口減少が進むとすると、豊岡市は、コミュニティの崩壊・消滅、公共交通網の崩壊、地域経済の衰退、財政悪化に伴う行政サービスの低下、医療・介護などの社会保障費の増大等、深刻な打撃を受けることが明らかである。

【図６】　人口減少の破壊力イメージ（灰色の地域に相当する人口が消滅する）

① 豊岡地域の 56%が消滅



②城崎・竹野・日高地域のすべてが消滅

③城崎・竹野・出石・但東地域と日高地域の 13%が消滅

豊岡市の人口

地域名	人口
豊岡	43,375 人
城崎	3,519 人
竹野	4,496 人
日高	16,609 人
出石	9,996 人
但東	4,255 人
豊岡市計	82,250 人

（出典：2015 年国勢調査）

Ⅱ　豊岡市地方創生総合戦略

１　人口減少トレンドの緩和

⑴　人口減少抑制対策の柱

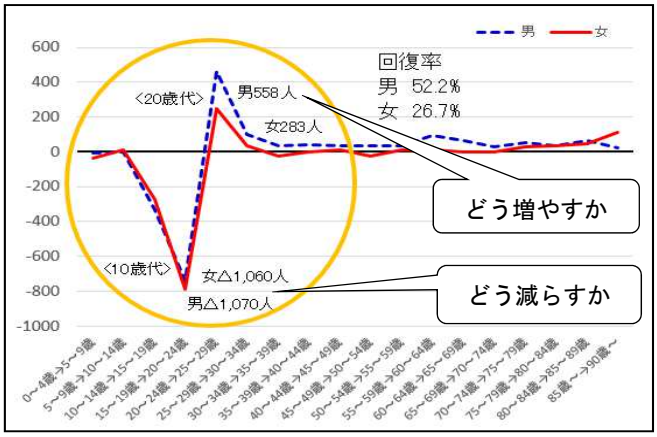
人口減少対策は、これまでにも過疎対策等、様々になされてきた。しかしその多くは、人口減少を前提にした上でその悪影響にどう立ち向かうかという、いわば適応型の対策であった。

私たちは、今後予測される人口減少の圧倒的な量の破壊力を直視し、将来世代のために、何よりもまず人口減少の抑制を全力で図らなければならない（量的緩和）。

具体的には、前述の豊岡市における人口減少の要因分析に基づき、減少要因そのものに手を付けることとし、定住する若者、とりわけ本市での女性の若者回復率が男性に比べて低いことから、若い女性を増やすこと（図３−２、図３－３）と結婚する若者を増やすことを対策の柱に据えることとする。

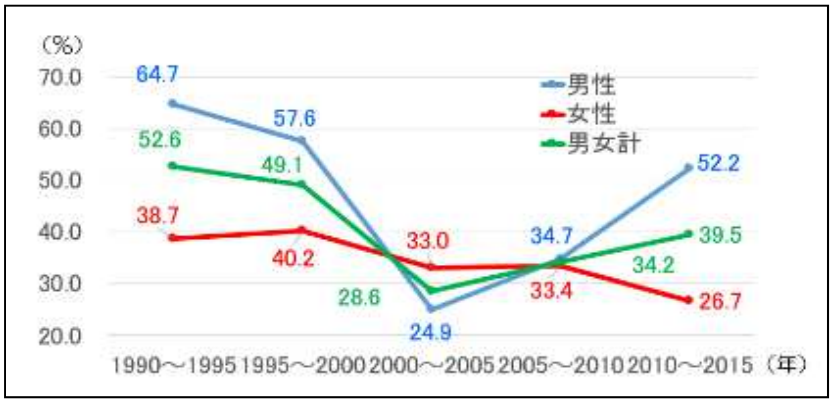
＊若者回復率：10 歳代の転出超過数に対して 20 歳代の転入超過者数が占める割合。

【図３－２】若者回復率（2010～2015 年）



（出典：中嶋圭介氏（神戸市外国語大学准教授）の資料をもとに作成）

【図３－３】　若者回復率の推移



（出典：国勢調査）

⑵　2040 年の目標人口（人口ビジョンから）

人口減少の要因分析に基づき、達成可能性も考慮して、次のとおり量的緩和に関する目標を設定する。

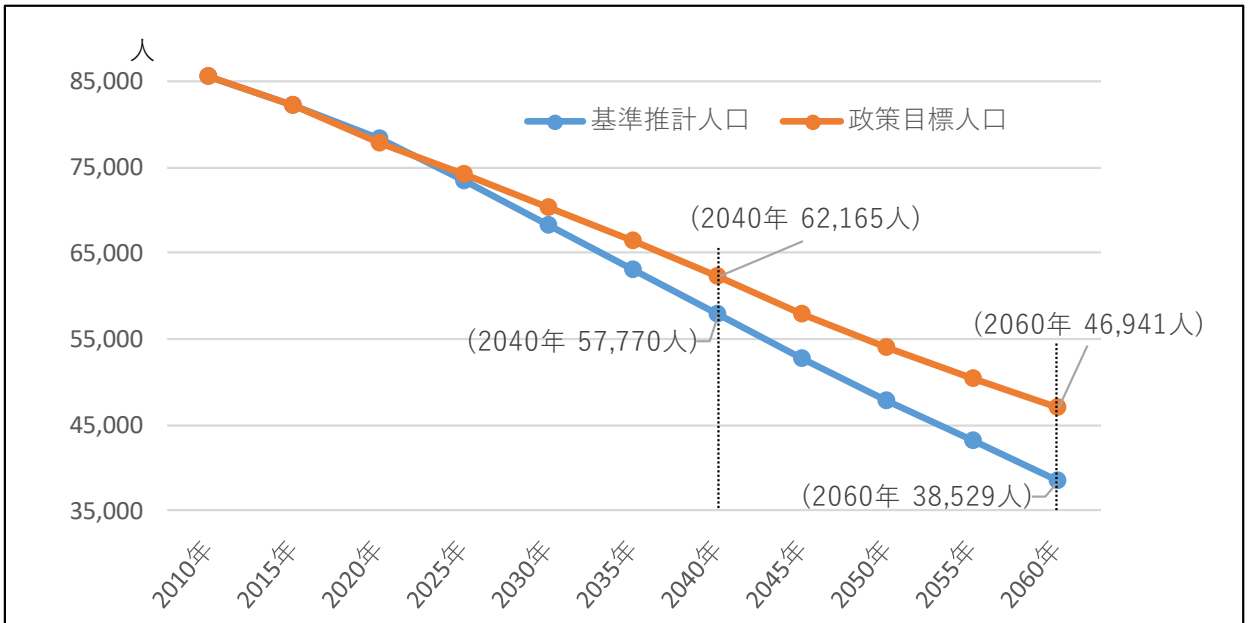
ア　合計特殊出生率を 1.82（2008～2012 年の 5 年間を基にしたベイズ推定値）から 2035 年までに 2.3 に引き上げる。

イ　若者回復率を現在の 39.5%（2010～2015 年国勢調査）を 2025 年度までに 50%に引き上げる。

ウ　これらのことによって得られる 2040 年における推計値を「政策目標人口」として設定する（図 7）。**政策目標人口（2040 年）＝62,165 人**

なお、2040 年段階での緩和数は小さなものであるが、その意義を過小評価してはならない。2060 年段階では基準推計人口に対し 8,412 人の緩和効果が見込まれる。私たちは、将来世代のために、長期的視点に立って緩和策を進める必要がある。

【図７】　合計特殊出生率・若者回復率に関する目標値の総人口推計への反映



	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	～	2060年	人口減少抑制効果	
										2040年	2060年
基準推計人口(人)	85,592	82,250	78,210	73,322	68,319	63,170	57,770	……	38,529		
政策目標人口(人)	85,592	82,250	77,898	74,085	70,327	66,417	62,165	……	46,941	+4,395	+8,412

（出典：基準推計は 2019 年推計、政策目標推計は 2015 年推計）

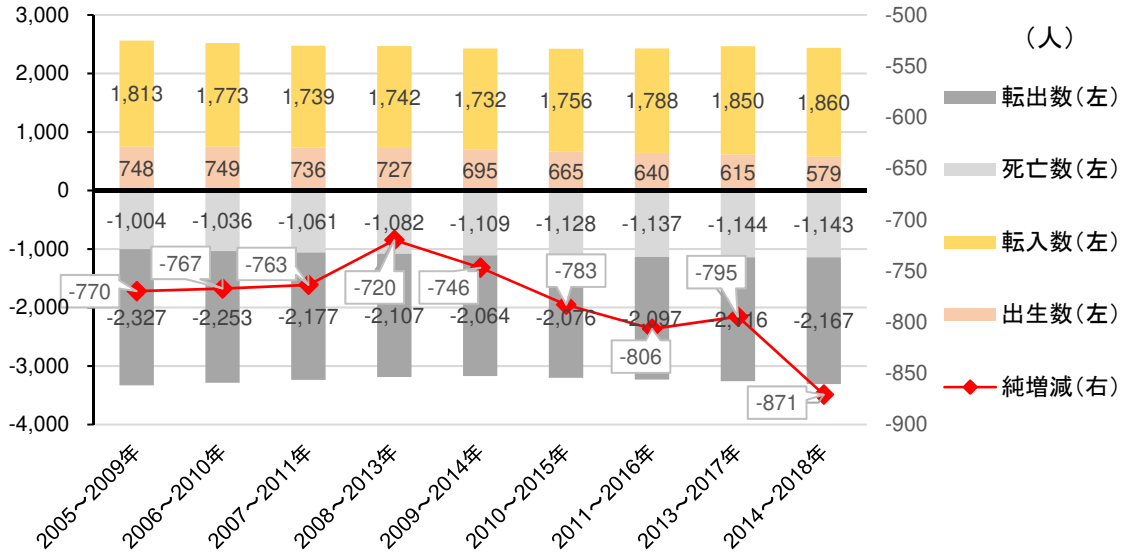
２　住民基本台帳データによる人口移動分析

(1)　自然減少・社会減少と傾向

豊岡市の人口移動（転入・転出）を住民基本台帳データによって分析したところ、第１期総合戦略（2015～2019 年）の実施前と実施期間中のトレンドに大きな変化は見られない。死亡数増加・出生数減少によって自然減少が拡大する一方、主に 20 歳代男性の転入超過数の増加によって、社会減少にやや縮小傾向が見られる。この社会減少の改善が一時的か、持続的か、引き続き見守る必要がある（図８）。

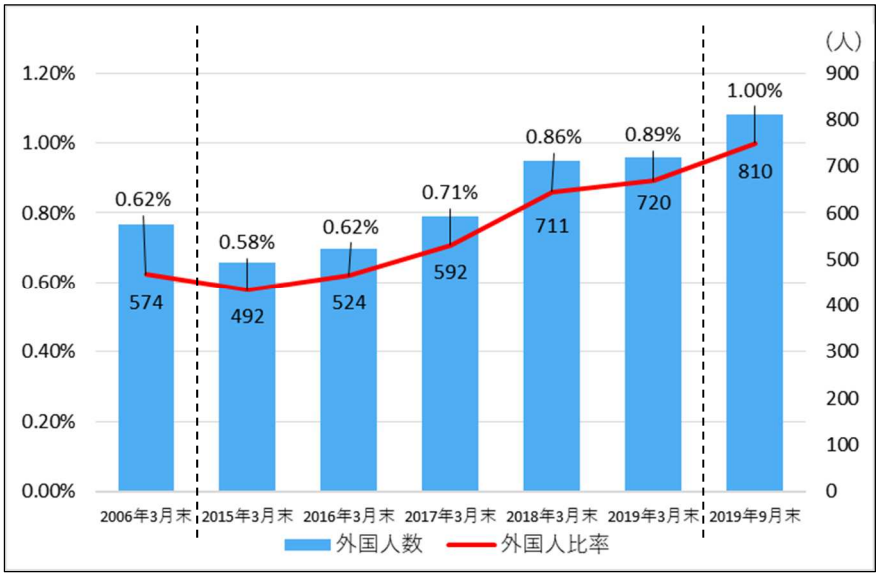
また、外国人住民は、豊岡市の総人口の約１％となり、年々増加している(図９)。

【図８】自然増減（出生数・死亡数）と社会増減（転入数・転出数）の移動平均の推移



（注）2012年の数値は、前後の年から大きな乖離が見られる。これは、2012年7月から施行された改正住民基本台帳法によって外国人住民も住民票に記載されるようになったためと考えられる。5年移動平均の計算の際、2012年の数値を除外している。　（出典）総務省自治行政局「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」（各年）

【図９】外国人住民数の推移



（出典：豊岡市住民基本台帳）

⑵　転入元・転出先

豊岡市の日本人男性の移動パターンは、高卒と同時に進学・就職で大阪・京都、あるいは県内都市部へ移動し、大学・専門学校の卒業時にＵターンするのが一般的である。一方、豊岡市の日本人女性は、男性と比べて 15～19 歳時の転出数は変わらないが 20 歳代の転入者は少ない。

地域・性別に見ると、2012～2018 年、但馬内からの男性転入者が総数に占める割合は 15.3%から 15.8%でほぼ変化が無いのに対して、女性転入者の割合は、19.3%から 22.9%へ上昇傾向が見られる。また、同期間、男性の但馬内移動数は 38 人から 33 人の転入超過でほぼ一定なのに対して、女性の移動数は 17 人から 49 人の転入超過に増加している（表１）。

すなわち、豊岡市は但馬内の他の自治体に対して男女とも転入超過の関係性を持ち、特に女性でその関係性は顕著である。これは、他市町の若い女性が親元から独立、あるいは、結婚を機に本市に転入しているものと考えられる。

以上から、豊岡市の男性に比べて低い女性回復率は、但馬内周辺自治体に少なからず依存し、その依存度は高まっている可能性がある。豊岡市より厳しい人口動態に直面する周辺自治体からの転入に依存していることは、豊岡市の将来的な若者回復率、出生力等の見通しが予想以上に厳しいことを示唆していると考えられる。

【表１】　性別・転出元・転入先別の移動者数（2012 年、2018 年）

	2012 年						2018 年					
	男性			女性			男性			女性		
	転入（人）	転出（人）	転入-転出(人)	転入（人）	転出（人）	転入-転出(人)	転入（人）	転出（人）	転入-転出(人)	転入（人）	転出（人）	転入-転出(人)
全国(A)	889	1033	-144	758	994	-236	811	1033	-222	677	996	-319
県外	473	563	-90	396	556	-160	442	586	-144	338	545	-207
県内(B)	416	470	-54	362	438	-76	369	447	-78	339	451	-112
県内但馬外	280	372	-92	216	309	-93	241	352	-111	184	345	-161
県内但馬内(C)	136	98	38	146	129	17	128	95	33	155	106	49
県内移動(B/A)	46.8%	45.5%	37.5%	47.8%	44.1%	32.2%	45.5%	43.3%	35.1%	50.1%	45.3%	35.1%
但馬内移動(C/A)	15.3%	9.5%	-26.4%	19.3%	13.0%	-7.2%	15.8%	9.2%	-14.9%	22.9%	10.6%	-15.4%

（出典）兵庫県「住民基本台帳に基づく都道府県及び市区町村別詳細分析表」（2019）

３　進行する人口減少下における地域活力の維持

現在の人口構造、社会移動、出生率の現状等を踏まえると、減少をゼロにすることは、長期にわたって不可能である。それどころか、人口ビジョンで明らかになったとおり、量的緩和策が功を奏したとしても、その 2040 年段階での効果は、2015 年と比べた推計減少人口 24,480 人に対し 4,395 人の緩和と小さなものである（図 7）。人口減少は依然として続き、地域活力を削ぐ力が今後も増大し続けることを覚悟しなければならない。

そこで、人口減少トレンドの極力の緩和に加えて、それでもなお続く人口減少下にあって地域活力を維持する対策を同時に進める必要がある。地域活力の減退を人口減少の単なる量的緩和だけではとてもカバーできないとすると、地域社会・地域経済・地域文化のあり様の質的転換による地域活力の維持を同時に追い求めるほかはない。

しかも、私たちが今後投入できる資源を考えると、量的緩和策を通じて質的転換を同時に図るよう戦略を立てる必要がある。

４　人口減少の緩和と緩和策を通じた地域活力の維持（ローカル＆グローバルの推進）

若者が地方を去り大都市へと流れる背景に、「社会的・経済的・文化的に豊かな大都市と貧しい地方」という強いイメージがあることが指摘されている。のみならず、「地方は貧しく、つまらない」というそのイメージは、現に地方に住んでいる人々をもとらえ、自らのまちに対する誇りの空洞化と活力の低下をもたらしてきたことも指摘されている。豊岡についても同様のことが言える。

換言すると、大都市に暮らす価値との比較において、豊岡に暮らす価値が選ばれていないことを意味する。したがって、大都市に暮らす価値に対抗しうる突き抜けた「豊岡に暮らす価値」を創りあげていくことが不可欠である。

幸い、近年、人と人、人と自然など「つながり」の希薄な大都市の暮らしに「空虚さ」を感じ、「つながり」を実感できる地方の暮らしに「豊かさ」を見て取る若い人たちが増えていることも報告されている。

しかも地方には、農林水産業や伝統産業など地方でこそできる仕事に加え、ICT の浸透によって地方でもできる仕事が増えつつあり、仕事も含めた、大都市とは別の豊かさを実感できる、成熟したライフスタイルの展開可能性が広がっている。

豊岡でも全く同様のことが言える。

グローバル化の進展も大きな可能性をもたらしている。

グローバル化の特徴の一つは、世界に同じ基準を適用して、世界を同じ商品、同じ店舗、同じ景色で満たしていくことにある。グローバル化の進展によって、急速に世界が同じ顔になりつつある中で、逆に、ローカルであること、地域性・固有性が輝くチャンスを持ち始めている。ICT の発達によって、地方も直接に世界の人々と結ばれることが可能になった今、地方における「豊かな暮らし」と「やりがいのある仕事」の可能性が出てきている。

豊岡でも、コウノトリの野生復帰が世界的評価を得て、コウノトリ育むお米の販売国数は増加し、伝統的街並みの城崎温泉を中心に豊岡全体で外国人宿泊客数が急増するなど、世界とのつながりが顕著になっている。また、城崎国際アートセンターには世界各国から優れたアーティストが訪れ、芸術文化の分野でも豊岡は世界と直接に結ばれ、人々を惹きつけ始めている。ローカル＆グローバルの視点は、豊岡の有力な活性化戦略となっている。

こうしたチャンスを活かし、「豊岡には大都市とは別の価値観に基づく豊かな暮らしとやりがいのある仕事がある」ことを自覚的にとらえて豊岡で暮らし、働く若者の増加を図ることができれば、人口減少の緩和につながることはもちろん、地域社会・地域経済・地域文化のあり様と豊岡の人々の自己イメージを変え、新たな地域活力の創造へとつながっていく可能性がある。

なお、都市での経験から得られたノウハウ、センス、ネットワークを持つ多様な人々の移住や関与は、その年齢を問わず、豊岡の「素材」を磨いて、国内外への通用力を高める可能性を有している。それは豊岡の魅力がさらに高まり、若者を惹きつける力ともなりうることから、戦略の策定・推進にあたって十分留意する必要がある。

５　第２期豊岡市地方創生総合戦略の新たな視点

地方創生総合戦略は、2015 年度の策定以来、見直しを行いながら推進してきたが、これまでの戦略の効果や明確となった課題を捉え、さらなる挑戦を進めていく。

⑴　多様性を受け入れるまちづくり

ア　女性に選ばれるまち（ジェンダーギャップの解消）

若い女性の減少は、更なる少子化をもたらし、まちの存続自体に大きな影響を及ぼす。近年の研究では、出生率の増減と子どもの数の増減は、ほとんど関係はなく、女性の社会増減と子どもの数の増減には、かなり強い相関関係があるとも言われている。豊岡において、若い女性の回復率は、男性に比べ低くなっている（図３－３）。

なぜ豊岡が若い女性たちに選ばれていないのか。そこには、豊岡が男性中心の社会であることに原因があると考えられる。ジェンダーギャップの解消は喫緊の課題であり、いきいきと暮らす女性を増やす取組みを進めるとともに、さらに多くの若い女性を呼び込む施策を展開していかなければならない。

イ　外国人住民との共生推進

近年増加傾向にある外国人住民を人口減少社会におけるコミュニティの一員として受け入れ、共生する施策を実施していく。

⑵　深さをもった演劇のまちづくり

演劇のまちづくりは、豊岡に暮らす突き抜けた価値を創りあげるために必要なものである。これまでの取組みにより、城崎国際アートセンターは、世界中から人々を集め、芸術文化観光専門職大学を誘致した。演劇は、まちの魅力を高め、人々をひきつけるとともに、教育・療育分野など様々な場面で新たな可能性が広がっている。さらに、演劇が浸透する深さをもった演劇のまちづくりを進めていく。

⑶　芸術文化観光専門職大学との連携

2021 年４月に開学する芸術文化観光専門職大学は、文化・観光分野において、優れた教師陣と強い目的意識をもった学生が学ぶ拠点となり、それらの学生や大学の活動によって、まちの魅力がさらに高まることが期待される。地域における専門職大学の可能性を最大限に活かすため、専門職大学との連携を進めていく。同大学と連携した取組みの一つとして、児童・生徒のコミュニケーション教育を進め、多様な価値観と自己決定力を身につけた次世代を育成する。

併せて、専門職大学で学んだ学生が、引き続き豊岡で働き、定住するよう、地域と一体となった取組みを進めていく。

６　第２期豊岡市地方創生総合戦略体系図

以上のことを踏まえ、人口減少のスピードを極力和らげるとともに、その対策を通じて、なお進む人口減少下にあっても地域活力を維持できるよう、第２期「豊岡市地方創生総合戦略」を策定し、実行することとする。

そこに示す豊岡市における地方創生のシナリオは、次のとおりである。

⑴　豊岡に住む人々が「豊岡で暮らすことの価値と魅力」を改めて探り、認識する。

⑵　その価値と魅力をさらに高める。特に、これまで進めてきた「小さな世界都市―Local &Global City―」＝「ローカルであること、地域固有であることを通じて、世界の人々から尊敬され、尊重されるまち」の実現に向けた取組みを加速し、世界と直接に結ばれる中で豊岡の価値と魅力をさらに高める。

⑶　豊岡で暮らすことの価値と魅力を若者や子どもたちに伝え、移住・定住を促し、共感して移住・定住をする若者を増やす。

⑷　特に、若い女性を増やす対策を進める。

⑸　以上の取組みによって「人口減少の量的緩和と地域社会・地域経済・地域文化のあり様の質的転換」を同時に図り、豊岡に暮らす価値を認め、豊岡で暮らすことに自信と誇りを持って住む人々からなるまちとして豊岡を蘇えらせ、地域活力の維持を図る。

戦略の策定・実行にあたっては、本市が戦略的政策評価で用いているロジック・モデルの手法（目指す姿を明確にしたうえで、目的達成に強い因果関係を持つ手段を選択して体系化し（以下「戦略体系図」）、体系そのものを PDCA サイクルで検証する手法）を用いる。

【戦略体系図】

上位目的	豊岡に暮らす価値を認め、豊岡で暮らすことに自信と誇りを持って住む人が増えている
戦略目的	暮らすなら豊岡と考え、定住する若者が増えている

主要手段01	豊岡の暮らしの「豊かさ」が内外に知られている
01-01	豊岡の良さが内外に伝わっている
01-02	豊岡を巣立った人たちが豊岡とつながっている
01-03	移住・定住を検討する人に情報が提供されている
主要手段02	多様なライフスタイル・働き方及び多彩な事業活動が実践されている
02-01	働きがいがあり、働きやすい場が増えている
02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている
02-03	豊岡の強みを活かして稼ぐ力が高まっている
02-04	市民が多様な人々を受け入れている
主要手段03	いきいきと暮らす女性が増えている
03-01	性別に関わらず地域での協働が進んでいる
03-02	性別に関わらず夫婦が家庭内で支えあっている
03-03	ありたい姿に向かっていきいきと働ける機会が増えている
主要手段04	豊岡で人々が世界と出会っている
04-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる
04-02	メイドイン豊岡が世界に広がっている
04-03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている
04-04	世界の人々と対等に向き合う人材が増えている
主要手段05	子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている
05-01	子どもたちが豊岡のことをよく知っている
05-02	子どもたちが様々なコミュニティの中で役割を果たしている
05-03	子どもたちが様々な人とコミュニケーションを楽しんでいる
主要手段06	結婚したいと思う人が結婚できている
06-01	若者が集い、交流する場が増えている
06-02	多種多様な出会いの機会が充実している
06-03	交際・結婚に向けた独身者へのきめ細かな支援体制が充実している

※「上位目的」：この戦略において長期的に実現したい状態
「戦略目的」：この戦略において５年程度で達成したい状態
「主要手段」：戦略目的を実現するための主要な手段（２桁）
４桁番号の手段は、主要手段を実現するための具体的な手段

※戦略策定・遂行にあたっての留意事項

① ジェンダーギャップの解消推進、移住定住促進、多様性推進、結婚支援等の観点から、子育て支援の総合拠点と子どもから高齢者まで「多様な人々が集い・交わる場」の創出を行う。

② 地域社会、地域経済、地域文化のあり様の質的転換を図る手段の一つとして、スマートコミュニティを推進していく。

スマートコミュニティは、ICT、IoT、データ活用等の適切な技術を最大限活用し、地域の特性に応じて、モビリティ、地域産業、エネルギー、健康・医療、人材育成など様々な課題を解決し、持続的に発展する地域を作ろうとするものである。

これにより、生活の心地よさを高めつつ、人々が多様性を認め、フラットでスマートにつながるコミュニティの構築を目指す。

７ 戦略の期間

この戦略の期間は、2020 年度から 2024 年度までの５年とする。

８ 戦略の進め方

⑴ 様々な統計やアンケート結果等の分析を踏まえながら、戦略の逐行、見直しを行う。

⑵ 人口減少対策は、強い意志の下に、長期にわたって継続的かつ総合的に実施するため、関係部署と連携しながら、事業を進める。

⑶ 戦略目的を達成するためには、戦略及び戦略に盛り込まれる個々の事業の策定及び実施にあたって、関係する市民・企業・団体・行政の協働が不可欠であることから、協働の推進体制を整える。

９　第２期豊岡市地方創生総合戦略に基づく事業・指標

上位目的	豊岡に暮らす価値を認め、豊岡で暮らすことに自信と誇りを持って住む人が増えている	
戦略目的	暮らすなら豊岡と考え、定住する若者が増えている	【指標】　人口の社会減の緩和（転入ー転出）

主要手段ー具体的手段		事業（該当する事業が重複事業は〔重複〕で記載）	重要業績評価指標（KPI）
手段 01	豊岡の暮らしの「豊かさ」が内外に知られている		豊岡市公式ウェブサイト閲覧（セッション）数
01-01	豊岡の良さが内外に伝わっている	豊岡ファンミーティング、Iターン推進（移住プロモーション）、文化と教育の先端自治体連携、関係人口の創出・拡大、コウノトリ野生復帰の取組み発信、観光事業（メディア・旅行エージェント招聘、観光データ収集等）〔重複〕	豊岡市移住定住ポータルサイト閲覧（セッション）数
01-02	豊岡を巣立った人たちが豊岡とつながっている	Uターン推進	新規就職者数（ジョブナビ豊岡登録企業）
01-03	移住・定住を検討する人に情報が提供されている	Iターン推進（ワンストップ窓口、移住イベント出展、まちのサードプレイス）、定住推進	移住組数（窓口相談等の利用者）
手段 02	多様なライフスタイル・働き方及び多彩な事業活動が実践されている		豊岡に価値や魅力を感じる市民の割合
02-01	働きがいがあり、働きやすい場が増えている	ＩＴ企業誘致推進、スマート農業推進、子育て支援の総合拠点整備〔重複〕	IT 企業誘致件数
02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている	内発型産業育成（ビジネス相談窓口、創業支援等）、政策アドバイザー設置、新規就農総合支援、豊岡農業スクール	創業件数、新規就農者数（青年等就農計画認定者）
02-03	豊岡の強みを活かして稼ぐ力が高まっている	豊岡鞄・豊岡財布技術向上支援、豊岡鞄ブランド PR 推進、スマート農業推進〔重複〕、コウノトリ育むお米ブランド化推進〔重複〕	鞄製造品出荷額、宿泊・鞄産業における若手従業員新規雇用者（正社員）数
02-04	市民が多様な人々を受け入れている	多文化共生推進、Iターン推進（ワンストップ窓口、移住イベント出展、まちのサードプレイス）〔重複〕、アーティスト・クリエーター移住等促進〔重複〕、子育て支援の総合拠点整備	アーティスト・クリエーター移住者数
手段 03	いきいきと暮らす女性が増えている		女性従業員の 2/3 以上が「働きやすくて働きがいがある」と評価している事業所数
03-01	性別に関わらず地域での協働が進んでいる	ジェンダーギャップ解消推進、子育て広場管理、ファミリーサポートセンター	ファミリーサポートセンター会員数
03-02	性別に関わらず夫婦が家庭内で支えあっている	ジェンダーギャップ解消推進〔重複〕、子育て広場管理〔重複〕	―
03-03	ありたい姿に向かっていきいきと働ける機会が増えている	ワークイノベーション推進、子育て中の女性の就労促進、子育てママの活躍機会促進、子育て支援の総合拠点整備〔重複〕	子育て中の就労促進事業による就職内定者数
手段 04	豊岡で人々が世界と出会っている		移輸出額
04-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる	城崎温泉街交通環境改善、但馬空港利用促進、観光事業（メディア・旅行エージェント招聘、観光データ収集等）、観光まちづくり推進（専門人材配置）、インバウンド誘客推進、豊岡演劇祭協同開催	観光消費額（インバウンド宿泊者）、豊岡演劇祭の市外からの来訪者数
04-02	メイドイン豊岡が世界に広がっている	コウノトリ育むお米ブランド化推進、アーティスト・イン・レジデンス〔重複〕	コウノトリ育むお米輸出総量
04-03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている	出石永楽館歌舞伎開催、芸術文化参与の設置、豊岡アートシーズン、子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭開催、城崎国際アートセンター事業、城崎国際アートセンター運営（アートマネジメント等業務委託）、アーティスト・イン・レジデンス、芸術文化情報発信、アーティスト・クリエーター移住等促進、演劇のまちづくり推進、多文化共生推進〔重複〕、豊岡演劇祭協同開催〔重複〕、専門職大学誘致〔重複〕	アーティスト・イン・レジデンス滞在者数（累計）、アーティスト・クリエーター移住者数
04-04	世界の人々と対等に向き合う人材が増えている	専門職大学誘致、豊岡演劇祭協同開催〔重複〕、高校生コミュニケーション教育等支援〔重複〕、英語教育推進〔重複〕	イングリッシュサマーキャンプ参加生徒数
手段 05	子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている		地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある児童・生徒の割合
05-01	子どもたちが豊岡のことをよく知っている	ふるさと教育推進、子どもの野生復帰、おっとろっしゃ！とよおかのものづくり、高校生コミュニケーション教育等支援〔重複〕	今住んでいる地域の行事に参加している児童・生徒の割合
05-02	子どもたちが様々なコミュニティの中で役割を果たしている	高校生コミュニケーション教育等支援、ふるさと教育推進〔重複〕	自分自身が関わって豊岡を良くしていこうと思う高校生の割合
05-03	子どもたちが様々な人とコミュニケーションを楽しんでいる	コミュニケーション教育推進、英語教育推進、豊岡の未来を創る高校生支援、非認知能力向上対策、英語遊び保育推進	話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う児童・生徒の割合、中学校卒業時の英検３級以上相当の英語力を有する生徒の割合
手段 06	結婚したいと思う人が結婚できている		婚姻数
06-01	若者が集い、交流する場が増えている	民間団体への婚活イベント補助	婚活イベントによる成婚数
06-02	多種多様な出会いの機会が充実している	出会い機会創出（恋するお見合い）、出会い機会創出（はーとぴー）、民間団体への婚活イベント補助〔重複〕	出会い機会創出事業による成婚数
06-03	交際・結婚に向けた独身者へのきめ細かな支援体制が充実している	ボランティア仲人養成、結婚相談所機能拡充、結婚・女性活躍推進調査、出会い機会創出（はーとぴー）〔重複〕、子育て支援の総合拠点整備〔重複〕	ボランティア仲人による成婚数、結婚相談所による成婚数

１　基本目標、主要手段・具体的手段、重要業績評価指標及び事業

⑴ 基本目標

戦略目的	暮らすなら豊岡と考え、定住する若者が増えている	
指標	基準値	目標値
人口の社会減の緩和（転入－転出） （※兵庫県市町別毎月人口推計調査 1～12 月）	△442 人（2019 年） （転入 1,893 人 －転出 2,335 人）	△388 人 （2024 年度）

⑵ 主要手段・具体的手段、重要業績評価指標及び事業

主要手段　01 （２桁）	豊岡の暮らしの「豊かさ」が内外に知られている	
重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
豊岡市公式ウェブサイト閲覧（セッション）数	831,716 件 （2018 年 7 月 25 日～ 2019 年 3 月 31 日）	1,340,000 件 （2024 年度）

主要手段を実現するための具体的手段　01-01 （４桁）	豊岡の良さが内外に伝わっている	
重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
豊岡市移住定住ポータルサイト閲覧（セッション）数	118,442 件 （2018 年度）	138,000 件 （2024 年度）

具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
01-01-01	豊岡ファンミーティング	本市の取組み・理念に共感した支持者（サポーター）であると同時に、周囲の人にも本市の良さを伝えてくれる“豊岡ファン“との関係強化のため、豊岡市内でファンミーティングを開催する。	大交流課
01-01-02	Ｉターン推進（移住プロモーション）	移住ポータルサイト「飛んでるローカル豊岡」で市民ライターが豊岡のリアルな暮らしを記事や SNS で発信する。 移住希望者や地域と関わりたい人と地域をつなぐウェブサービス「SMOUT（スマウト）」を利用し、市内で実施される各種プロジェクトへの参加やメッセージのやりとりを通して、移住者及び関係人口を増加させる。	環境経済課
01-01-03	文化と教育の先端自治体連携	構成自治体（２市３町：北海道東川町、富山県南砺市、岡山県奈義町、	大交流課

		香川県小豆島町、豊岡市）が連携しながら、文化や教育による先端的なまちづくりの取組みを進める。	
01-01-04	観光事業（メディア・旅行エージェント招聘、観光データ収集等）〔重複〕	国内外のテレビ・雑誌・WEB サイト等の編集者、インフルエンサー、旅行エージェント等を招聘し、市の取組みや観光素材を取材してもらいメディア等への露出や観光商品造成につなげる。 観光に関する様々な客観的データ（位置情報ビッグデータ等）を取得・分析し、その結果をもとに施策を展開するとともに、施策の効果を定量的に検証する仕組みを導入する。	大交流課

主要手段を実現するための具体的手段　01-02（４桁）	豊岡を巣立った人たちが豊岡とつながっている

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
新規就職者数（ジョブナビ豊岡登録企業）	未測定	865 人増（５年間）

具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
01-02-01	Ｕターン推進	職業紹介サイト「ジョブナビ豊岡」で効果的な情報発信を行うとともに、市内企業 40 社を集めた合同説明会を大阪市内で開催し、市内企業とのマッチングを図ることでＵターン就職を促進する。	環境経済課

主要手段を実現するための具体的手段　01-03（４桁）	移住・定住を検討する人に情報が提供されている

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
移住組数（窓口相談等利用者）	38 組（2018 年度）	224 組増（５年間）

具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
01-03-01	Ｉターン推進（ワンストップ窓口、移住イベント出展、まちのサードプレイス）	移住希望者を対象に、地域・住まい・仕事等の情報提供や、視察コーディネート・マッチング等を一括して実施するワンストップ窓口を設置する。 移住希望者が多数集まる大阪や東京の移住フェアへ出展し、豊岡	環境経済課

		の価値や魅力を伝え、豊岡への来訪や移住に導く。 移住者等多様な人々が集う「まちのサードプレイス」を運営する。移住相談と現地案内等を市民と連携･協働して移住促進を図る。	
01-03-02	定住促進	本市への移住を目的に、住居や仕事を探す活動や文化、歴史、風土、気候等を知るために本市を訪れる方を対象に、宿泊費用や飛行機代の一部を補助する。 移住定住ポータルサイト「飛んでるローカル豊岡」に掲載されている空き家物件を取得または賃借し、５年以上定住する方に当該物件の改修等の費用を補助する。	環境経済課

主要手段　02（２桁）	多様なライフスタイル・働き方及び多彩な事業活動が実践されている

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
豊岡に価値や魅力を感じる市民の割合	41.1% (2018 年度)	60% (2024 年度)

主要手段を実現するための具体的手段　02-01（４桁）	働きがいがあり、働きやすい場が増えている

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
ＩＴ企業誘致件数	０件 (2019 年度)	５件増 （５年間）

具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
02-01-01	ＩＴ企業誘致推進	若者や女性が働きたい職場となることが期待されるＩＴ企業等を効率よく誘致するため、協力者のコネクションを活用した誘致活動を展開する。 ＩＴ企業誘致に関する補助制度を見直し、既存事業者の拡大や地域課題解決に取り組む事業者の支援を行う。	環境経済課
02-01-02	スマート農業推進	2018、2019 年度にコウノトリ育む農法（無農薬）省力化実証事業で使用した、水位、水温及び地温を通信回線を介してスマートフォン等で確認できる水田センサーを、実施事業協力農家、新規就農者及び関係機	農林水産課

		関に活用いただき、特に出穂前後の水管理を可視化して、近年多発する高温障害による品質低下対策を講じる。	

主要手段を実現するための具体的手　02-02（４桁）	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
創業件数	19 件 (2018 年度)	110 件増 （５年間）
新規就農者数（青年等就農計画の認定者）	２人 (2019 年度)	17 人増 （５年間）

具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
02-02-01	内発型産業育成（ビジネス相談窓口、創業支援等）	市内創業希望者や市内企業を対象にしたビジネス相談窓口「IPPO TOYOOKA」を運営する。 創業・事業承継に取組む若者・女性のスタートアップに要する経費を支援する。 具体的な目標を掲げ、成長を目指す市内事業者の新製品開発、販路拡大等に要する経費を支援する。	環境経済課
02-02-02	政策アドバイザーの設置	豊岡市の政策・施策を推進するにあたり、ソーシャルビジネス、まちづくりにおけるデザイン等について、専門的立場から助言等を行う３名の政策アドバイザーを設置する。	大交流課
02-02-03	新規就農総合支援	若手就農者へ農業用機械導入等の初期投資費用の一部を支援するとともに、市外から移住する新規就農者や豊岡農業スクール生への家賃補助の支援を行う。 国の農業次世代人材投資事業を活用し、年間最大 150 万円を給付する。	農林水産課
02-02-04	豊岡農業スクール	就農意欲のある研修生（年３人）の募集と、認定農業者への派遣研修（最長３年）事業を豊岡市認定農業者連絡協議会へ委託し、将来の独立自営就農又は雇用就農につなげる。	農林水産課

主要手段を実現するための具体的手　02-03（４桁）	豊岡の強みを活かして稼ぐ力が高まっている

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
鞄製造品出荷額	104 億円 （2019 年調査）	116 億円 （2024 年調査）
宿泊・鞄産業における若手従業員の新規雇用者（正社員）数	72 人 （2018 年度）	300 人増 （５年間）

具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
02-03-01	豊岡鞄・豊岡財布技術向上支援、豊岡鞄ブランドＰＲ推進	豊岡鞄・豊岡財布の技術深化を図るため、財布の生産能力を習得する人材育成事業を行い、新たな柱としての定着を目指す。 「豊岡鞄」ブランドの価値を向上させる取組みを支援する。特に、今年開催される東京オリンピックの開催を見据え、「豊岡鞄」ブランドの国内外へ向けた情報発信力を強化する。	環境経済課
02-03-02	スマート農業推進〔重複〕	2018、2019 年度にコウノトリ育む農法（無農薬）省力化実証事業で使用した、水位、水温及び地温を通信回線を介してスマートフォン等で確認できる水田センサーを、実施事業協力農家、新規就農者及び関係機関に活用いただき、特に出穂前後の水管理を可視化して、近年多発する高温障害による品質低下対策を講じる。	農林水産課
02-03-03	コウノトリ育むお米ブランド化推進〔重複〕	消費者にコウノトリ育むお米の特徴や価値を理解・共感いただくため、ＪＡたじまと協働し国内外で情報発信等を展開する。 アメリカで開催される日本食エキスポ等に出展するとともに、オーストラリア及び香港の食品販売店等で販売プロモーションを展開する。	農林水産課

主要手段を実現するための具体的手　02-04（４桁）	市民が多様な人々を受け入れている

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
アーティスト・クリエーター移住者数	５人 （2019 年度）	35 人増 （５年間）

具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
02-04-01	多文化共生推進	外国人住民、外国にルーツを持つ子どもの生活実態と抱える課題について、共同研究チームによるヒアリング調査を実施するとともに、他地域の先進事例を研究する。 調査結果を踏まえ、多文化共生を推進するための戦略を策定する。	政策調整課
02-04-02	Ｉターン推進（ワンストップ窓口、移住イベント出展、まちのサードプレイス）（重複）	移住希望者を対象に、地域・住まい・仕事等の情報提供や、視察コーディネート・マッチング等を一括して実施するワンストップ窓口を設置する。 移住希望者が多数集まる大阪や東京の移住フェアへ出展し、豊岡の価値や魅力を伝え、豊岡への来訪や移住に導く。 移住者等多様な人々が集う「まちのサードプレイス」を運営する。移住相談と現地案内等を市民と連携・協働して移住促進を図る。	環境経済課
02-04-03	アーティスト・クリエーター移住等促進（重複）	劇団員が豊岡への移住をイメージしやすいよう、豊岡での生活、住まい、仕事等の生活情報の提供や相談を受ける機会を設ける。	大交流課

主要手段　03（２桁）	**いきいきと暮らす女性が増えている**

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
女性従業員の２／３以上が「働きやすく働きがいがある」と評価している事業所数	０事業所（2018 年度）	20 事業所増（５年間）

主要手段を実現するための具体的手段　03-01（４桁）	**性別に関わらず地域での協働が進んでいる**

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
ファミリーサポートセンター会員数	178 人（2018 年度）	280 人（2024 年度）

具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
03-01-01	ジェンダーギャップ解消推進	家庭、地域等を含めたまち全体のジェンダーギャップの解消に向けた戦略を策定するとともに、戦略策定過程や進捗状況などを広く発信し、ジェンダーギャップ解消の意義	ワークイノベーション推進室

		やメリット、多世代、多様な人々の参画の必要性について市民の関心を高める。	
03-01-02	子育て広場管理	「子育て広場芝生化実行委員会」の協力により、５か所の子育て広場の除草等の維持管理を行う。また、子育て女性のイベント開催の場所とするなど、子育て世代の活用を促進する。	健康増進課
03-01-03	ファミリーサポートセンター	子どもの預かりなどの支援を受けたい保護者と支援を行いたい者の会員組織を運営する。 会員同士の相互援助が円滑に図れるよう、専任アドバイザーを配置して、会員のマッチング、会員研修、交流事業等を行う。	こども育成課

主要手段を実現するための具体的手段　03-02（４桁）	**性別に関わらず夫婦が家庭内で支えあっている**

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
―	―	―

具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
03-02-01	ジェンダーギャップ解消推進〔重複〕	家庭、地域等を含めたまち全体のジェンダーギャップの解消に向けた戦略を策定するとともに、戦略策定過程や進捗状況などを広く発信し、ジェンダーギャップ解消の意義やメリット、多世代、多様な人々の参画の必要性について市民の関心を高める。	ワークイノベーション推進室
03-02-02	子育て広場管理〔重複〕	「子育て広場芝生化実行委員会」の協力により、５か所の子育て広場の除草等の維持管理を行う。また、子育て女性のイベント開催の場所とするなど、子育て世代の活用を促進する。	健康増進課

主要手段を実現するための具体的手段　03-03（４桁）	**ありたい姿に向かっていきいきと働ける機会が増えている**

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
子育て中の就労促進事業による就職内定者数	22 人 （2018 年度）	150 人増 （５年間）

具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
03-03-01	ワークイノベーション推進	女性も働きやすく、働きがいを感じる事業所を増やすことを通じた職場のジェンダーギャップ解消と、これを切り口としたまち全体のジェンダーギャップの解消を目指し、経営者や従業員等の意識改革、行動改革を促す。	ワークイノベーション推進室
03-03-02	子育て中の女性の就労促進	事業所へのプチ勤務導入を促進し、子育て中の女性にとって働きやすい職場環境を整備する。 「お仕事大相談会」を開催し、働きたいが働けていない子育て中の女性の就労を促す。	ワークイノベーション推進室
03-03-03	子育てママの活躍機会促進	親子の活躍の場を増やす（＝親子の姿を見る機会を増やす）先遣隊として、「NPO 法人ママの働き方応援隊」派遣の場を創出する。 子育て女性活動団体へ、イベントの開催経費を補助する。	健康増進課

主要手段　04 （２桁）	豊岡で人々が世界と出会っている	
重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
移輸出額	231,268 百万円 (2017 年度)	233,473 百万円 (2024 年度)

主要手段を実現するための具体的手段　04-01 （４桁）	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる	
重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
観光消費額（インバウンド宿泊者）	1,096 百万円 (2017 年度)	2,502 百万円 (2024 年度)
豊岡演劇祭の市外からの来訪者数	600 人 (2019 年度)	4,300 人 (2024 年度)

具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
04-01-01	城崎温泉街交通環境改善	道路狭隘な城崎温泉街の課題解決のため、城崎温泉交通環境改善協議会を中心に、桃島バイパスを視野に入れた交通環境対策の検討協議及び交通環境改善計画の策定を行う。	建設課

04-01-02	但馬空港利用促進	首都圏において、豊岡を知ってもらうとともに、コウノトリ但馬空港を利用して豊岡へ訪れてもらうため、豊岡市×JAL プロモーションコンテンツの制作・配信を行う。	都市整備課
04-01-03	観光事業（メディア・旅行エージェント招聘、観光データ収集など）	国内外のテレビ・雑誌・WEB サイト等の編集者、インフルエンサー、旅行エージェント等を招聘し、市の取組みや観光素材を取材してもらいメディア等への露出や観光商品造成につなげる。 観光に関する様々な客観的データ（位置情報ビッグデータ等）を取得・分析し、その結果をもとに施策を展開するとともに、施策の効果を定量的に検証する仕組みを導入する。	大交流課
04-01-04	観光まちづくり推進（専門人材配置）	専門的な視野を持った経営人材やマーケティングの専門家などを豊岡観光イノベーションに配置する。	大交流課
04-01-05	インバウンド誘客推進	ターゲット市場に対するWEB広告の配信や、現地旅行社やメディアへの売込みによる露出拡大により、豊岡市の認知度を向上させる。 外国語版ＷＥＢサイト「Visit Kinosaki」を効率的・効果的に運用することにより、外国人観光客に対して豊岡の魅力を的確に伝え、本市への誘客につなげる。	大交流課
04-01-06	豊岡演劇祭協同開催	第１回豊岡演劇祭を市内文化施設等で上演し、国内外からの誘客を図る。また、フリンジ型の演劇祭として５年でアジア№１、10 年で世界有数の演劇祭を目指して開催し、「演劇のまち・豊岡」としてのブランドイメージを構築する。	大交流課

主要手段を実現するための具体的手段　04-02（４桁）	**メイドイン豊岡が世界に広がっている**

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
コウノトリ育むお米輸出総量	17.2 トン (2018 年度)	60 トン (2024 年度)

具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
04-02-01	コウノトリ育むお米ブランド化推進	消費者にコウノトリ育むお米の特徴や価値を理解・共感いただくた	農林水産課

		め、ＪＡたじまと協働し国内外で情報発信等を展開する。 アメリカで開催される日本食エキスポ等に出展するとともに、オーストラリア及び香港の食品販売店等で販売プロモーションを展開する。	
04-02-02	アーティスト・イン・レジデンス〔重複〕	選考された国内外の最先端アーティストが、滞在中に行った芸術文化創作活動を発表し、観光大使となって豊岡の魅力を世界中に発信していく。また、市民に優れた舞台芸術に触れる機会を提供する。	大交流課

主要手段を実現するための具体的手段　04-03（４桁）	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
アーティスト・イン・レジデンス滞在者数　＊累計	1,066 人 (2018 年度)	1,970 人 (2024 年度)
アーティスト・クリエーター移住者数	５人 (2019 年度)	35 人増 （５年間）

具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
04-03-01	出石永楽館歌舞伎開催	文化都市豊岡のイメージアップを図るとともに、市外からの交流人口拡大による地域経済活性化に寄与する事業として、「第 13 回永楽館歌舞伎」を開催する。	出石地域振興課
04-03-02	芸術文化参与の設置	「最先端の芸術文化による若者の誘引」戦略アドバイザーとして、芸術文化参与を設置し、地方創生総合戦略の推進を図る。	文化振興課
04-03-03	豊岡アートシーズン 2020	文化施設等が連携して、演劇や音楽など多彩なジャンルのプログラムを「Toyooka Art Season 2020（豊岡アートシーズン 2020)」として展開し、文化芸術の創造性を通じて、市の魅力を内外に向け発信する。	文化振興課
04-03-04	子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭開催（豊岡アートシーズン 2020 参加）	第７回おんぷの祭典（子どもたちのためのコンサート、学校訪問コンサート、街角コンサート、稽古堂イブニングコンサート、サロンコンサート、グランドフェスティバル）と、市内の音楽家によるプレコンサートを開催する。	生涯学習課
04-03-05	城崎国際アートセンター事業（豊岡アートシーズン 2020 参加）	最先端の舞台芸術により芸術文化に親しんでいただく機会を提供することにより、市内外からの誘	大交流課

		客を図り、関係人口を増やす。	
04-03-06	城崎国際アートセンター運営（アートマネジメント等業務委託）	城崎国際アートセンターを芸術文化の国際的戦略拠点に位置付け、運営、芸術活動、地域との連携体制及び情報発信を強化するため、アートマネージメント等業務を専門的知識を有する人材で構成する団体に委託する。	大交流課
04-03-07	アーティスト・イン・レジデンス	選考された国内外の最先端アーティストが、滞在中に行った芸術文化創作活動を発表し、観光大使となって豊岡の魅力を世界中に発信していく。また、市民に優れた舞台芸術に触れる機会を提供する。	大交流課
04-03-08	芸術文化情報発信	芸術文化による「豊かな暮らし」を実現するため、市民への事業等の情報提供を充実し、参加を呼びかける。	大交流課
04-03-09	アーティスト・クリエーター移住等促進	劇団員が豊岡への移住をイメージしやすいよう、豊岡での生活、住まい、仕事等の生活情報の提供や相談を受ける機会を設ける。	大交流課
04-03-10	演劇のまちづくり推進	演劇祭を通じた様々なステークホルダーを呼び込み、地域内外の企業等との共創によるまちづくりを行うとともに、企業版ふるさと納税の獲得を促進する。	大交流課
04-03-11	多文化共生推進〔重複〕	外国人住民、外国にルーツを持つ子どもの生活実態と抱える課題について、共同研究チームによるヒアリング調査を実施するとともに、他地域の先進事例を研究する。 調査結果を踏まえ、多文化共生を推進するための戦略を策定する。	政策調整課
04-03-12	豊岡演劇祭協同開催〔重複〕	第１回豊岡演劇祭を市内文化施設等で上演し、国内外からの誘客を図る。また、フリンジ型の演劇祭として５年でアジア№.１、10 年で世界有数の演劇祭を目指して開催し、「演劇のまち・豊岡」としてのブランドイメージを構築する。	大交流課
04-03-13	専門職大学誘致〔重複〕	専門職大学設置に向け、兵庫県と連携して高校生向けプレカレッジや高校教員等を対象とした公開講座等を実施する。	大交流課

主要手段を実現するための具体的手段　04-04（４桁）	世界の人々と対等に向き合う人材が増えている

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
イングリッシュサマーキャンプ参加生徒数	45 人 (2019 年度)	270 人増 （５年間）

具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
04-04-01	専門職大学誘致	専門職大学設置に向け、兵庫県と連携して高校生向けプレカレッジや高校教員等を対象とした公開講座等を実施する。	大交流課
04-04-02	豊岡演劇祭協同開催〔重複〕	第１回豊岡演劇祭を市内文化施設等で上演し、国内外からの誘客を図る。また、フリンジ型の演劇祭として５年でアジア№.１、10 年で世界有数の演劇祭を目指して開催し、「演劇のまち・豊岡」としてのブランドイメージを構築する。	大交流課
04-04-03	高校生コミュニケーション教育等支援〔重複〕	高校生を対象に演劇的手法を用いたコミュニケーション教育を実施する。 高校生がダンスを通じた地域探究、企業見学、地域課題解決に向けた学習や、学校外での地域を活性化するための事業を実施する。	環境経済課
04-04-04	英語教育推進〔重複〕	豊岡市英語教育カリキュラムによる９年間の系統性と連続性のある英語教育を市内小・中学校で実施する。 教員の研修会やイングリッシュ・サマーキャンプ（中学３年生対象）等を実施する。	こども教育課

主要手段　05 （２桁）	子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている	
重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある児童・生徒の割合	小　63.9% 中　39.5% (2019 年度)	小　68.9% 中　44.5% (2024 年度)

主要手段を実現するための具体的手段　05-01 （４桁）	子どもたちが豊岡のことをよく知っている	
重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある児童・生徒の割合	小　92.9% 中　77.1% (2019 年度)	小　97.9% 中　82.1% (2024 年度)

具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
05-01-01	ふるさと教育推進	「コウノトリ」「ジオパーク」「産業・文化」を共通の学習課題とし、豊岡の「ひと・もの・こと」に学び、ふるさと豊岡を自分の言葉で語り誇れる力を育成する。	こども教育課
05-01-02	子どもの野生復帰	キッズワイルド 2020 による、「周年型の自然活動体験プログラム」と「単発型の自然体験活動プログラム」を実施する。	生涯学習課
05-01-03	おっとろっしゃ！とよおかのものづくり	市内のものづくり企業の認知度向上を目的に、豊岡市工業会が開催する企業展示等ものづくり体験教室の支援を行う。	環境経済課 （豊岡市工業会）
05-01-04	高校生コミュニケーション教育等支援〔重複〕	高校生を対象に演劇的手法を用いたコミュニケーション教育を実施する。 高校生がダンスを通じた地域探究、企業見学、地域課題解決に向けた学習や、学校外での地域を活性化するための事業を実施する。	環境経済課

主要手段を実現するための具体的手段　05-02 （４桁）	子どもたちが様々なコミュニティの中で役割を果たしている	
重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
自分自身が関わって豊岡を良くしていこうと思う高校生の割合	未測定	70% (2024 年度)

具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
05-02-01	高校生コミュニケーション教育等支援	高校生を対象に演劇的手法を用いたコミュニケーション教育を実施する。 高校生がダンスを通じた地域探究、企業見学、地域課題解決に向けた学習や、学校外での地域を活性化するための事業を実施する。	環境経済課
05-02-02	ふるさと教育推進〔重複〕	「コウノトリ」「ジオパーク」「産業・文化」を共通の学習課題とし、豊岡の「ひと・もの・こと」に学び、ふるさと豊岡を自分の言葉で語り誇れる力を育成する。	こども教育課

主要手段を実現するための具体的手段　05-03（４桁）	**子どもたちが様々な人とコミュニケーションを楽しんでいる**

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う児童・生徒の割合	小　83.6% 中　78.8% (2019 年度)	小　88.6% 中　83.8% (2024 年度)
中学校卒業時の英語検定３級以上相当の英語力を有する生徒の割合	55.3% (2019 年度)	70% (2024 年度)

具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
05-03-01	コミュニケーション教育推進	すべての小学校６年、中学１年において、担任による演劇的手法を取り入れた授業を学期に１回ずつ年間７時間実施し、コミュニケーション能力の向上を図る。	こども教育課
05-03-02	英語教育推進	豊岡市英語教育カリキュラムによる９年間の系統性と連続性のある英語教育を市内小・中学校で実施する。 教員の研修会やイングリッシュ・サマーキャンプ（中学３年生対象）等を実施する。	こども教育課
05-03-03	豊岡の未来を創る高校生支援	高校版ローカル＆グローバル教育に取り組む豊岡総合高校の生徒を対象に、カナダ・ビクトリア市が主催する語学研修への参加費用を補助する。	こども教育課
05-03-04	非認知能力向上対策	非認知能力向上のため、モデル校２校おいて、平田オリザ氏監修のプログラムにより、小学校１年生～３年生に演劇ワークショップを試行的に実施するとともに、効	こども教育課

		果測定を行う。	
05-03-05	英語遊び保育推進	就学前（４、５歳児）の子どもたちを対象に、歌やゲーム、絵本の読み聞かせなどをすべて英語で行う英語遊び指導員を巡回派遣する。	こども育成課

主要手段　06（２桁）	結婚したいと思う人が結婚できている	
重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
婚姻数	282 組（2018 年）	287 組（2024 年）

主要手段を実現するための具体的手段　06-01（４桁）	若者が集い、交流する場が増えている	
重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
婚活イベントによる成婚数	０組（2018 年度）	５組増（５年間）

具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
06-01-01	民間団体への婚活イベント補助	独身男女の多様な出会い機会を創出するため、民間団体が主催する婚活・恋活イベントへ補助する。	健康増進課

主要手段を実現するための具体的手段　06-02（４桁）	多種多様な出会いの機会が充実している	
重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
出会い機会創出事業による成婚数	８組（2018 年度）	50 組増（５年間）

具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
06-02-01	出会い機会創出（恋するお見合い）	女性が男性のプロフィールを見て希望相手を選び、お見合いを行う機会を創出する。	健康増進課
06-02-02	出会い機会創出（はーとピー）	婚活応援プロジェクト「はーとピー」（婚活イベント）を実施し、結婚を支援する。また、専任の結婚支援	健康増進課

		員を置き、希望者には細やかなアフターフォローを行う。	
06-02-03	民間団体への婚活イベント補助〔重複〕	独身男女の多様な出会い機会を創出するため、民間団体が主催する婚活・恋活イベントへ補助する。	健康増進課

主要手段を実現するための具体的手段　06-03（４桁）	**交際・結婚に向けた独身者へのきめ細かな支援体制が充実している**

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
ボランティア仲人による成婚数	１組 (2018 年度)	23 組増 (５年間)
結婚相談所による成婚数	５組 (2018 年度)	42 組増 (５年間)

具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
06-03-01	ボランティア仲人養成	ボランティア仲人「縁結びさん」を養成し、活動を支援する。 ボランティア仲人がご縁を取り持つことにより、結婚相談所や婚活イベント等に行かない独身者層にも働きかける。	健康増進課
06-03-02	結婚相談所機能拡充	社会福祉協議会の結婚相談所ボランティア相談員が成婚数を増加させるため、成婚報奨金を補助する。また、担当職員、相談員の資質向上のため、研修費を補助する。	健康増進課
06-03-03	結婚・女性活躍促進調査	若者の動向に詳しい者や市内に在住する若者の意見を聞き、市が行う婚活事業を推進する。	健康増進課
06-03-04	出会い機会創出（はーとピー）〔重複〕	婚活応援プロジェクト「はーとピー」（婚活イベント）を実施し、結婚を支援する。また、専任の結婚支援員を置き、希望者には細やかなアフターフォローを行う。	健康増進課

第２期豊岡市地方創生総合戦略

第２版

2020 年 12 月

豊岡市政策調整部政策調整課